

商工振興

大阪府商工労働部 監修 公益社団法人大阪府工業協会 編集発行 2020 No.850

好評連載中！今月の取材先はこちら

会員企業訪問

トワロン株式会社

関西企業ヒストリア

第5回 きた産業株式会社

2020



『誠実なものづくり』がトワロンの精神 錆びない強さプラスワンでさらなる可能性へ挑む

トワロン 株式会社

トワロン株式会社
錆びない強さ TOWARON

中小企業が集積している東大阪で生まれ、歴史のある堺で育ったトワロン株式会社。「錆びない強さ」をコア技術として、被覆線を使った土木資材などの開発・製造・販売を行っています。同社のものづくりの精神と、『錆びない強さ』プラスワンの差別化機能の開発により、新たな価値を創造する、6代目社長の藤本和隆氏にお話をうかがいました。

一 東大阪で生まれ、堺で育った 被覆線メーカー トワロン(株)

当社は1935年に藤本金網製作所として創業しました。創業当時は、被覆線を使って、ざるや防虫網を製造していました。ざるといえば今はプラスチック製がほとんどですが、かつては被覆線が使われていました。次第にざるをつくるために鉄線に被覆をするという仕事が増え、それが本業となっていきました。しばらくして被覆線を使ったざるは人体に影響があるのではないかとということで徐々に需要がなくなり、土木資材へ注力することになりました。現在では土木資材が売り上げの約半分を占めています。当時は東邦金網(株)という名前で、鉄線に被覆して金網屋さんに入っていました。しかし、金網屋さんが金網屋さんに納入するのは違和感があるため、1982年に商品名であるトワロンを会社名としました。

一 『錆びない強さ』と 同社のものづくりの精神

当社のオリジナル製品ではIRワイヤーがあります。海岸の防護網やグラウンドのネットフェンスなどで利用されています。2006年に堺ブランド「堺技衆」に認証、その後、大阪のものづくり優良企業賞も受賞しました。当社の「錆びない強さ」は、国の機関で実験を行い、30年持つという認証を得ています。この認証を得たこともあり、徐々に当社の製品を使っていただけになってきました。かつて当社は材料メーカーで、受注したものを作って納めていましたが、もっと自社の強みを生かして考えながら良いものを作り、それを提供できるようにしたいと思いました。そうでなければ価格競争に陥ってしまいます。できるだけ良いもの、価値のあるものを値段は少し高くても買ってもらえるような商品づくりを心掛



60年以上の耐候性がある

トワロン 株式会社

代表取締役社長：藤本 和隆 氏
創業：1935年(昭和10年)2月
従業員数：37名
事業内容：合成樹脂被覆鉄線の製造・販売



さびない! IR(低密度ポリエチレン)被覆線。

心線 樹脂めっき 接着剤 被覆材

万が一破れた時は…

被覆材と心線が完全接着しているため腐食が進行しない

※接着剤は端部や加工傷からの腐食を防ぐことが可能。

同じ初期費用で、こんなに違う耐用年数

3種めっき	8年
7種めっき	15年
IR	63年

錆びない強さの理由

IRワイヤーの耐久性評価



けています。

過去に取引先の方から「30年も持ちしは、交換する必要がなくなり、儲けが減るのではないですか?」と言われたことがあります。当社ではお客様にとっての価値は何か、お客様の立場になって考えることを第一としています。当社製品を使っただけ、良さを理解していただければ、他の用途に使っていただいたり、チャンスがまたくると考えています。

一 同社の強みとは? 錆びないこととプラスワン

当社の強みは何といっても錆びないということです。被覆線の構造は非常に単純で、心線と呼ばれる鉄線の周りを樹脂でコーティングしているだけです。構造は単純ですが、そこには細かな技術、当社のノウハウが詰まっています。

まずは心線にめっきを施します。一般的には亜鉛めっきが多いです。めっきすることで心線が中から錆びることがなくなります。その上に接着剤をつけて樹脂で被覆します。そのことで心線と樹脂の間に隙間がなくなります。この接着強度がポイントです。安価な中国製品などは接着強度が弱く、樹脂に一箇所でも傷がつくと、そこから心線全体が錆びてしまいます。しかし、当社製品は樹脂が剥がれて心線が見えている部分だけの被害で済みます。



当社のもう1つの強みは「錆びない強さ」プラスワンの機能付加です。例えば樹脂の中にあるものを入れることで、海中でも藻が付きにくい被覆線になったり、カプサイシンを混ぜることで、動物が寄ってこない防護網を作ったりしています。「錆びない強さ」を当社のコア技術とし、そこにプラスワンの価値を加えることで当社独自の価値を創造しています。

一 誠実なものづくりを体現する 人材育成

お客様の立場になってものづくりをする。それを一言で誠実なものづくりとしています。それを体現するために当社ではQC教育を徹底しています。社内ではQC活動を活発に行い、年に一度発表会も行っています。その他には装置の保全活動も自分たちでできるように教育を行っています。軽微な故障は工務部で全て対応しています。そのため教育は会社で全てサポートし、資格なども積極的にとるようにしています。また、若手社員の教育にはベテラン社

員をマンツーマンでつけ、みっちり教育します。一通りの教育が終わると、教わったことをまとめてマニュアルを作ってもらいます。復習にもなりますし、イメージを整理することができます。大手企業のようにしっかりとした教育はできませんが、当社なりに愛情を持って人を育てるということを心掛けています。

一 藤本社長の今後の目標

今はワイヤーにしか被覆していませんが、当社の接着技術とノウハウを活かして、どのような形状でも被覆できるように事業を展開したいと考えています。そのためにはこれまでの技術をもう一步進化させる、もしくは異なる技術が必要になるかもしれませんが、今後を見据えて挑戦していきたいです。今後は50億、100億の会社へ成長するというのが大きな目標で、そのためには何をしなければいけないのか探求、探索の毎日です。新しいことをやりながら自社の技術を活かして皆様のお役に立てることを探しながら仕事をしていきます。それを繰り返していくことで徐々に認められるようになります。大手企業がやらないこと、そこを突き詰めてやること、それが当社の使命だと思っています。

一 貴重なお話をいただき、誠にありがとうございました